

発表資料：2024年3月22日 ニュースリリース（英語・外国語教育）

祝 小学校3年生が英検準1級に合格しました

学校法人啓明学園（昭島市）は、1940年に帰国子女の受け入れ校としてスタートし、国際教育、英語教育に力を入れてきました。このたび、本校初等学校3年生の横尾優里さんが、2024年1月21日実施の英検準1級に合格したことをご報告いたします。なお、幣学園ではこれまでも初等学校の児童が英検準1級に合格しており、本年も本校5年生の合格者2名、合計3名が合格しています。しかしながら、3年生での合格は本校にとって初めてのことです。

英検準1級は「大学入試レベル」の試験です。大学の入学試験で準1級合格者を優遇する大学は数多くあります。今回受験した1月21日の準1級試験のwritingの課題は「政府は若い人の投票率をあげるためにもっと対策をするべきか?」、そして読解問題では、「Bears and Diabetes 熊と糖尿病」、「Secret of Argonaut アオイ貝の秘密」、「Meritocracy 能力主義」など、自然科学、社会問題、歴史など、多岐にわたる分野からの出題があり、英語能力だけでなく、社会的な問題への関心、高い思考力がなければ合格はできません。（準1級の過去問・試験内容 | 英検 | 公益財団法人 日本英語検定協会 (eiken.or.jp)

優里さんは、国語、数学などの小学校3年生の通常の授業を受けるかわら、本校独自の「英語特進クラス」を受講し、英語力、思考力を磨いてきました。啓明学園教員一同、優里さんの合格を祝福するとともに、国際的に通用する英語教育をさらに推進してゆく所存です。



初等学校3年生 横尾優里さん

【横尾優里さんの経歴】

日本で生まれ、1歳～5歳まで米国カリフォルニア在住。米国滞在中は現地のプリスクール、公立小学

校に併設されているキンダーガーデン(幼稚園)に行き、帰国後、啓明学園初等学校に入学。啓明学園入学後は、英語特進クラスで英語を学んでいる。ご両親ともに日本人で、家庭内では日本語で話している。

【優里さんの話】

準1級に合格して嬉しいし、未来にもつながれたと思います。英検は、英語だけでなく、社会の勉強もできて、良い経験になります。英検の勉強を通じて、社会の勉強を先取りできました。だから、これからの勉強にも役立つと思います。次はぜひ1級に挑戦したいと思っています。ぜひ皆さんも英検に挑戦してください。

【保護者（母）の話】

今回の英検に向けて、日本語で書かれた小学生向けの社会や歴史科学の本をまず7～8冊読みました。また、NHK『映像の世紀』を録画し、一緒に見ながら、社会に対する知識を深めました。啓明学園での週3回ある現地校と同レベルの英語の授業とふだんの国語の授業など、合わせ技で合格させてもらったと思います。

【担任教員の話】

優里さんは、英語だけでなく、国語や算数などの授業にもとても意欲的に取り組んでいます。啓明学園の国語の授業では、「真の読解力」を目指し、3点セット（主張、根拠、理由）に類推を加えて自分の意見を言ったり、人の意見を聞いたりするようにしています。また、体験を通じて学ぶ、ということも重視しています。たとえば、ニュージーランドのことを勉強する時は、ニュージーランドの話聞いた後、皆でスナックタイムを楽しんでニュージーランドの生活を体感したりしています。

優里さんの英検準1級は、毎日の国語の授業に加え、英語やそれ以外の授業、あるいはさまざまな体験学習のプログラム、そしてご家庭での取り組みが繋がった成果だと思っています。今後も、授業や生活のなかでさまざまな挑戦をする子どもたちを応援していきたいと思っています。

学校法人啓明学園
理事長 夏坂真澄
〒196-0002
東京都昭島市拝島町5丁目11番15号
電話：042-541-1003
e-mail: yamada-h@keimei.ac.jp(担当：山田)